

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 10 No 01

102号

平成14年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして おめでとう

今年もよろしく、
お願い致します。



新しい年に向けて-2002

院長

毎年恒例ですが、昨年を振り返ってみます。昨年の新年号には「新しい世紀の幕開け」と題して、大きく期待を込めて記事を書きました。その期待とは裏腹に、暗い話題が目立ちました。

3月の骨折では、激痛で油汗が出て血の気が引く思い、今でも忘れられません。若気の至りというか、年寄りの冷や水というか。患者さんだけでなく、多くの人々に迷惑をかけ、本当に反省させられました。転んでもただでは起きない性格なのか、手術後の激痛を我慢した体験から「よい患者さんとは」という題で、患者さんの気持ちを書きました。お見舞いや励ましのメールを数多く頂き、多くの患者さんに支えられていることを再認識しました。本当に、幸せ者です。ありがとうございました。また松葉杖で歩くことの不自由さは、想像以上のものでした。バリアフリーという言葉があちこちで聞かれる割には、如何にバリアフリーでないということを身をもって体験しました。体の不自由な人に対するバリアフリーの必要性を、今まで以上に訴えていきたいと思えます。

5月には日本小児科学会のシンポジウム「21世紀の情報化と小児科」で、パネリストとして発表の機会を得ました。開業医としては、大変光栄なことです。思い起こせば今から6年前、何の見通しもなくホームページを開設しました。インターネットの普及と親御さん達後押しとメディアでの評価に伴い、アクセス数は増加し続け、12月20日には30万件を突破し、日本一(?)とまで称されるようにまでなりました。またコミュニケーション目的の育児サークル「お母さんクラブ」や患者専用メールなど、多岐にわたる育児支援も評価されパネリストに指名された次第です。小児科におけるインターネットと育児支援をライフワークとして、これからも様々な試みをしていきたいと思えます。患者専用メールは想像していた以上で、驚きを隠せません。

従来の投書箱では、せいぜい年間でも50通程度でした。しかし昨年10月に開始して以来、1年間で263通ものメールを頂きました。全員に返事を送ることを心がけ、患者さんとのコミュニケーションには非常に役立っています。PCや携帯端末の普及により、今後益々必要とされるに違いありません。

9月の米国多発テロ事件の生々しい映像は、今も時々よみがえります。世界貿易センタービルの崩壊のすさまじさ、膨大な犠牲者の数。心を痛めたのは、皆さん同じだと思います。しかし、次第に明らかになっていくアフガニスタンの子どもたちや女性達の姿。どちらが被害者かという思いが、頭をよぎりました。アフガニスタンの国情を見るにつけ、不況など様々な問題を抱えていても我が日本は、まだまだ幸せだと感じました。何か少しでもと思い、アフガニスタンの子どもたちへの義援金を呼びかけました。たくさんの患者さん達の協力をいただき、12月末までに13,793円を集めることができました。クリニックの分を加えて、ユニセフに送りました。御協力、本当にありがとうございました。

11月には「クリニックNEWS」が、100号を迎えることができました。古いNEWSをもう一度確認しましたが、恥ずかしい思いです。自分でも気付かないうちに、少しづつよいNEWSになってきていたのかもしれない。積み重ねることの大切さを、痛感しました。この積み重ねが、新聞のオーディションに入選出来た理由なのでしょう。

12月1日、皇太子妃・雅子様が、待望の女の赤ちゃんを御出産なされました。新しいプリンセスのお名前は「敬宮愛子」(としのみや・あいこ)様です。愛子(あやし)という地名もあり我々仙台人には馴染みが深く、愛子駅の入場券購買に行列ができたことは記憶に新しいと思えます。お名前には「人を敬い、人を愛する」との願いが込められています。健やかに御育ちになることを、御祈りしています。昨年は暗い話題が多い中、最後は本当に明るいニュースで締めくくることが出来たと思えます。

いつの間にか、当院も2月20日で、9年になります。毎年“漫然と同じことの繰り返しでは、進歩がありません。”と書いています。さて、今年は何か新しいことが出来るか、性懲りもなく考えているところです。お母さんたちも子どもたちのため、何か一つ新しいことに挑戦してみましょう。新しいことが出来なくても、一つ一つの小さな積み重ねの大切さも大事にしたいことです。子どもたちを取り巻く環境は必ずしも良好ではありません。そして経済面にも、まだまだ暗雲が立ちこめています。愛子様誕生という明るいニュースをきっかけに、今年は皆さんにとっても自分にとっても、よい年になることを願っています。

スタッフから一言

今年はさらに先生、スタッフの団結力を深め、協力しあい気持ちのゆとり分を患者さんへの思いやりにプラスしていきたいと思います。よろしく御願いします。三浦江理子

今年は年女になってしまいました。これを機会に何か新しいことにチャレンジしてみようと思います。福地あさか

あけまして おめでとう ございます

今年はなんとっ、100万\$の笑顔をまき散らし、会う人会う人をメロメロにするぐらいのいい女になる予定でーす。予定は未定、うふ。茂木玲子

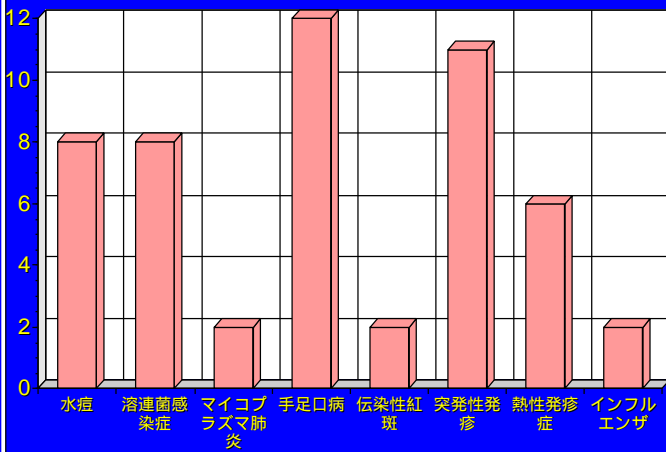
こちらに勤務してまだ半年の私の目標は、「仕事を頑張る!!」とにかく、これしかありません。先生、スタッフの皆さん、そしてお母さん、よろしく御願い致します。佐藤陽子

読者の広場

12月は31件のメールと5件の投書を頂きましたを戴きました。はじめて受診した上愛子のKさんから投書を頂いたので、まず紹介します。「今日電話帳で見て、はじめて受診しました。仙台に来て(他県から)1年たらず、地理もわからず、不安なことも一杯ありましたので、こちらの小児科に来て心がほっとしました。みなさんが暖かく、病院とはこども(病人)も親も安心できるところが本当なんだと、痛切にかんじました。本当に、遠かったですが、受診してよかったです。」。はじめての患者さんに評価されることは、本当に嬉しいことです。遠いところ御苦労さま、そして投書ありがとうございます。もう一つは「お母さんクラブ」のクリスマス会に対する感想を宮城野区の三浦さんから頂きました。「今日のクリスマス会、親子共々楽しく過ごすことができました!。お忙しい中、準備をするのはとても大変だったかと思えます。中米さんは指まで切ってしまったんですね。実はこの間予防接種に行った時から気になっていました。お大事に...。クリスマスカードは思い出の写真と共にアルバムに収めておきます。娘の方もサンタさんからプレゼントをもらい、一緒に写真も撮ることが出来てとても喜んでます。そして、BINGOや伝言ゲームは親のほうが楽しかったです。事務のお姉さんから『... (略) ...小林製薬の代表名はサンポール』という伝言を(変だなあ)と思いつつ、次の人に伝えたことが何より一番おかしかったです(笑)楽しい時間を本当にありがとうございました!!。病院も混雑する季節になり、ますます忙しくなるとは思いますが先生も看護婦さん方もお体大切にしてください。」。中米くんは一生懸命なカード作りで、勢い余って指を切ってしまいました。「お母さんクラブ」は医学や子育ての話を中心にして、リクレーションなどを織り交ぜて、年8回開催しています。「医学の知識を得たい」「育児の悩みを聞いてもらいたい」「転職したばかりで、お友達が欲しい」「もっと先生の話を知りたい」「みんなで楽しく、遊びたい」等、こんな思いを持っているお母さん方の集まりです。詳しくは院内掲示を、ご覧下さい。もう一つ、「混雑時の駐車場待ちについて」の投書を頂きました。向かい側のお店の御迷惑を考慮して、待つ場合は進行方向に向かって右側(クリニック寄り)で、待っていただくことにしています。ご協力、よろしくお願い致します。



12月の感染症の集計



水痘、溶連菌感染症は増加傾向にあります。手足口病が季節外れの流行で、まだ数多く見られています。高熱と咳が続く肺炎が多く見られています。マイコプラズマと確定している例はわずか2例ですが、本当はもっと多いのかもしれない。確定のためには治ってから検査が必要ですが、元気になってしまうので徹底は出来ません。インフルエンザは、わずか2例で、今のところ流行の兆しはありません。2例は小学生の兄弟で、高熱で発症し検査で陽性とでたものです。熱もすぐ下がってしまったので、検査が疑陽性だった可能性もあります。

年賀状 ありがとうございます

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございます。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同



編集後記

毎年新年には、心新たに誓います。今までのところ毎年、何か新しいことが出来ていました。今年は本が出版される予定があります。他に写真集(一体なんだこれは??)も。スタッフの誰かも書いてありましたが、予定はあくまでも未定です。乞う、御期待!!

